

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

エネルギーの安定供給を通じた社会貢献を使命とするとともに、持続可能な開発目標の実現に向けた社会的課題の解決に取り組む

事業利益
500億円

ROE
8%

GHG排出原単位削減
40%

下限配当額
40円/株

2 中長期の経営戦略

1. CO2圧入・貯留事業化

CCS/CCUSの早期実用化を目指し、深部塩水層の調査選定と圧入坑井掘削を実施。石油・天然ガスE&Pの強みを活用

2. ガスサプライチェーン強化

国内インフラ基盤を活用したガスサプライチェーンを電力供給を加えてさらに強化。天然ガス・LNGの多様な供給方式展開

3. 再生可能エネルギー参画拡大

従来事業の知見や経験を活かしながら、参画する再生可能エネルギープロジェクトの拡大を目指す

4. E&P分野コア資産構築

JAPEX Norge ASを子会社化、米国Peoria Resourcesを設立。インドネシアグバン鉱区への参画決定

3 対処すべき課題

① 資本効率化投資の継続

- ・米国・ノルウェーにおける相応規模E&P資産取得が進んでいない状況
- ・カーボンニュートラル分野の事業化見通しが不透明。2026年度頃のFID目指す

② 株主還元のパラティリティ

- ・油価等市況による利益水準の変動が配当パラティリティを生む課題
- ・下限配当40円/株維持により安定化に取り組む

③ ステークホルダー対話強化

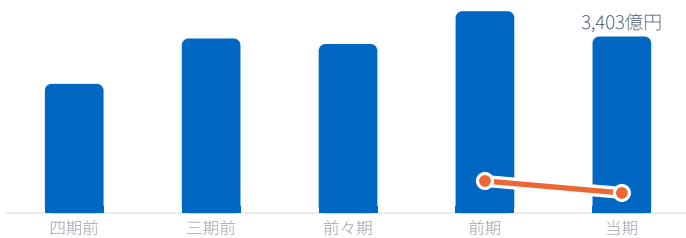
- ・決算説明会への社外取締役参加とESG説明会開催を実施中
- ・個人投資家向け会社説明会の開催で対話機会創出に注力

面接で使えるポイント

- ・1955年創業から石油・天然ガス探鉱・開発・生産を中心に事業展開。
- ・JAPEX2050で2030年度までにCO2排出原単位を2019年度比40%削減目標。
- ・2022-2030経営計画で2030年度事業利益500億円、ROE8%目標。資本効率にこだわった投資と株主還元強化を両立

証券コード 1662

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3,403億円営業利益率
11.4%財務健康度
84点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 72.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,061万円
鉱業内 2位/5社平均年齢
39.81歳
鉱業内 4位/5社平均勤続
14.08年
鉱業内 4位/5社女性管理職
8.1%
鉱業内 1位/3社男性育休
84.2%
鉱業内 1位/3社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 苫小牧に「CCS」新会社 石油資源開発、事業化見据え体制整備

